

## 役員・会員・寄付者一覧

### ■役員

理事長	中村 順子	
副理事長	星野 裕志	九州大学大学院 経済学研究院教授
理事	足立 勝	株式会社神戸介護ケアウィング代表取締役
	佐藤 友美子	追手門学院大学地域創造学部教授
	小室 邦夫	ヒューマンスキル研究所 主宰
	當間 克雄	兵庫県立大学 経営学部教授
	飛田 敦子	認定NPO法人CS神戸 事務局長
監事	金芳 外城雄	NPO法人神戸の絆2005 専務理事
	奥村 一人	コンサルティングオフィスK 代表

### ■会員一覧(順不同・敬称略)

**正会員(19名)** 足立 勝/岡本 仁宏/金芳 外城雄/小室 邦夫/坂本 登/佐藤 友美子/立田 英雄  
 當間 克雄/中村 順子/長谷川 京子/飛田 敦子/藤原 和男/星野 裕志/松下 忠義  
 朴木 佳緒留/青山 ゆみこ/池田 拓也/尾花 弘教/川島 龍一

**賛助会員・個人(98名)** 泉 勇策/平田 富士男/落合 弘/瀬戸口 延恵/村上 義弘/四宮 一夫  
 江口 聰/上野 恭男/津田 久雄/稲田 薫/大西 洋助/西田 幸夫/川島 悦子/大脇 和代/大久保 和雄  
 小林 るみ子/藤本 傑士/原 祥隆/山内 延浩/前東 ふみ子/進藤 啓子/宮崎 太喜夫/菅 祥明/尾山 宗久  
 福嶋 正次/西池 陽一/長澤 マリ/端 信行/向山 良子/遠田 豊成/細見 典子/見機 明/植戸 貴子  
 藤浦 剛/小林 清隆/増金 祐次/氏家 都子/小見山 竹和/畑中 進/井上 隆文/兵頭 修也  
 森 功/朴 徹雄/大西 佐知子/高橋 度/三好 祥世(幸代)/大黒 洋一/中山 照彦  
 直田 春夫/務川 悦孝/有友 ひとみ/松瀬 博樹/松元 隆平/中村 保佑/林 律子  
 與口 修/富田 妙子/浜田 宏樹/新庄 達也/伊谷 須美子/保元 温/黄田 昭子  
 朝山 日出夫/山本 好克/白井 一彦/日下 恵子/大谷 敏行/古結 洋子/尼川 洋子  
 大野 利恵/藤本 隆/岡部 記代子/安元 邦夫/吉本 隆光/林 祐介/西村 尚士  
 上田 弘/岡田 雅幸/丸本 恭子/龍田 昇/子川 幹男/宮下 隆二/北川 浩二/森田 正純  
 赤須 治郎/大和 三重/井上 雅晴/桑山 信子/小林 義徳/荻野 俊子/蒲田 尚史/栗野 真造  
 酒井やよい/加藤 正博/砂田 沙紀/浅野 恭子/東郷 寛/匿名希望

**賛助会員・団体(13団体)** 神戸西助け合いネットワーク/NPO法人福祉ネットワーク西須磨だんらん  
 医療法人明倫会 宮地病院/NPO法人ジンジャークラブ/カタオカネットワーク/特定非営利活動法人薫風  
 NPO法人インクルひろば/神戸いたやどばあちゃん/宗教法人 満福寺/エンゼルス/アテンドクルーなど  
 NPO法人山びこへるぷ/ヒューマンスキル研究所

### ■寄付者一覧(順不同・敬称略)

**企業・団体(9団体)** 大和リース株式会社/有限会社 神輝興産/株式会社シカタ/商船港運株式会社  
 日本郵船株式会社/社会福祉法人きらくえん/NPO法人福祉ネット寿/NPO会計支援センター/関西日英協会

**個人(33名)** 佐藤 博史/尾花 弘教/瀬戸口 延恵/酒井 やよい/落合 弘/古結 洋子/小林 清隆  
 河村 ゆき江/浅野 恭子/堀田 力/清水 肇子/井上 隆文/中村 保佑/野崎 亜子/松下 忠義/増金 祐次  
 金芳 外城雄/樋口 孝子/大和 三重/清原 桂子/井上 隆文/藤原 和男/立田 英雄/坂本 登/中村 順子  
 星野 裕志/小室 邦夫/佐藤 友美子/足立 勝/島田 誠/飛田 敦子/向山 良子/伊藤 愛奈



認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)

〒658-0058 神戸市東灘区住吉東町5-2-2 ビュータワー住吉館104

TEL.078-841-0310 FAX.078-841-0312

E-mail : office@cskobe.com URL : http://www.cskobe.com



生きがいごとサポートセンター神戸東  
(ワラビー)



生きがい活動ステーション



CS神戸本部

# 2019 ANNUAL REPORT

## 2019年度事業報告書

ご支援  
ありがとうございます!  
ございました!



地域共生拠点・あすパーク



神戸市コミュニティ  
相談センター



JR住吉駅前駐輪場



まちづくりスポーツ神戸/  
予約図書受取コーナー&まちそらば



認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)

## ごあいさつ

阪神・淡路大震災から25年となった2019年度は、CS神戸にとっても大きなチャレンジの1年でした。多様な関係者の方々と議論を重ね、3つの新規事業を円滑にすすめることができました。

1つ目は「地域共生拠点・あすパーク」の設置です。これまでにCS神戸が蓄積した資源と多くの方のご寄付により、神戸市内では初めて、公園内に地域共生型の拠点を構築することができました。高齢者の健康と生きがいづくりや子どもの発達支援など、企業とも協働し、挑戦する場として基盤が整いつつあるところです。

2つ目の「神戸市コミュニティ相談センター」は、自治会等地域型コミュニティの相談が主な事業で、これまでの活動のウイングを更に広げることができる場となっています。

3つ目の「予約図書受取コーナー」は、神戸市立図書館のランチの位置付けで、予約・返却を中心としながら、本を通じた多様な取り組みを実施し、活況を呈しています。

これら3つの新規事業に加え、既存事業も順調に進捗していましたが、2月以降、新型コロナウイルスの影響で、駐輪場以外の拠点は活動の休止を余儀なくされました。「自立と共生」をミッションとしてきたCS神戸として、このような非常時に何をすべきか、何が求められているのか、新しいつながり方の模索と挑戦が続いています。

不透明な時代だからこそ、「誰もが居場所と役割がある地域社会」を目指し、現実合った活動を進めてまいりたいと思います。これからもご一緒いただけることを楽しみにしています。

### 2019年度の実績と成果

実績	①新規相談者数	821名
	②講座数	149本
	③受講人数	1870人
成果	④立ち上げ団体数	57団体
	⑤新規活動者数	605名



理事長 中村順子



事務局長 飛田敦子

**ミッション** 「自立と共生」を理念とした地域社会をめざし、自ら活動する人々を応援します。

## ANNUAL REPORT 2019年度事業報告書

- ごあいさつ ..... 2
- まちづくりスポット神戸/予約図書受取コーナー&まちスポらぼ 3
- 地域共生拠点・あすパーク ..... 4
- 神戸市コミュニティ相談センター ..... 6
- ワラビー/JR住吉駅前駐輪場  
生きがい活動ステーション ..... 7
- 居場所立ち上げ・運営支援事業 他 ..... 8
- 外部講師活動一覧・事業所マップ ..... 9
- 決算報告/ポートフォリオ ..... 10
- Topics/組織図 ..... 11

## 2019年度 事業報告

3つの新事業を実施しました！

新事業  
その1

人とまちを本でつなぐ

### 予約図書受取コーナー&まちスポらぼ



まちスポ図書

#### 事業概要

神戸市とCS神戸の協働により、神戸市では初となる商業施設での予約図書受取コーナーの設置を実現しました(8月16日にオープン)。日々の業務は「本が好き」で集まった図書クルー(有償ボランティアスタッフ)が中心となって活躍しています。また、予約図書受取コーナーの前に設置した「まちスポらぼ」では、親子で楽しめるイベントを開催するなど、公共サービスとNPOの自主事業との組み合わせという新たな取組にチャレンジしています。



神戸市外大LearnBo

図書クルー

からこそその需要も高く、改めて、本は人の生活を豊かにする社会インフラであることを認識しました。「まちスポらぼ」では、近隣大学の学生団体が絵本の読み聞かせやボードゲームなどを定期的で開催するなど新しい活動が生まれました。

#### 2019年度の活動報告

図書館が遠い地域であることから、開所以来利用者数は右肩あがりに増え、本の利用数も神戸市で1、2番目に多く、「便利になった」というお声を多数いただきました。3月は新型コロナウイルスへの対応で開室日数や時間の変更などイレギュラーなことも多かったのですが、学校休校中だ

#### 今後の展望

今後はさらに「まちスポらぼ」を活用し、本を媒介とした地域交流の拠点作りを目指します。地域の方の積極的な活動を応援できるよう、引き続き取り組んでいきます。

#### 商業施設で生まれる新しいコミュニティ

### まちづくりスポット神戸

まちづくりスポット神戸はBRANCH神戸学園都市において大和リース(株)と協働で運営しています。スタッフ4名と共に24名の有償ボランティアスタッフが植栽や図書等、自分の得意な分野で活動しています。現在の登録団体は79団体で、子育て支援、居場所運営、福祉活動等、様々な分野で地域活動をされています。また、地域の居場所を運営

している3グループと介護施設の支援を行っているアテンダクルーが連携協力し、在宅支援をするチーム「ちょこっとお手伝い」が立ち上がりつつあります。

2019年度の来館者は27,261人で、累計で12万人を超えましたが、3月は新型コロナの影響でかなりの減少となりました。

新事業  
その2 公園から創発、つながるコミュニティ  
地域共生拠点・あすパーク



あすパークは「協働の場」、そして「挑戦の場」です。

3つの活動スタイル

「コラボ」スタイル

いっしょに!

あすパークが企業、大学、NPO、市民・ボランティアグループなどの多様なセクターと協働で様々な取り組みを実施していきます。

「サポート」スタイル

ささえる!

活動でのお困りごとなど、常駐しているコーディネーターがご相談にのり、広報のお手伝いをしていきます。

「オリジナル」スタイル

独自に!

社会課題解決のための「調査・開発」や企業と地域、NPOをつないでいく「企業向けNPO協働セミナー」などを開催していきます。

事業概要

数年前から構想を練り始め、許可元である神戸市、地域住民の方々、各種団体との細やかな調整を経て、2020年1月にプレオープンしました。建設費の大半はCS神戸の資金で賄いましたが、特別寄付を募るとともに、助成金も申請し不足分に充てました。多様な個人や団体の交流の場としての活用はもちろん、企業等と協働しながら地域課題解決につながるプロジェクトを創出していくことも大切なミッションのひとつです。NPOが公園に交流拠点を設置するというのは全国的にもめずらしく、ほぼ前例がありません。いつまでも暮らし続けられる街を目指し、新しいコミュニティのあり方を「あすパーク」から発信していきます。

※あすパークの名前は、「明日のあす」と「私たちのus」のふたつの意味が込められています。

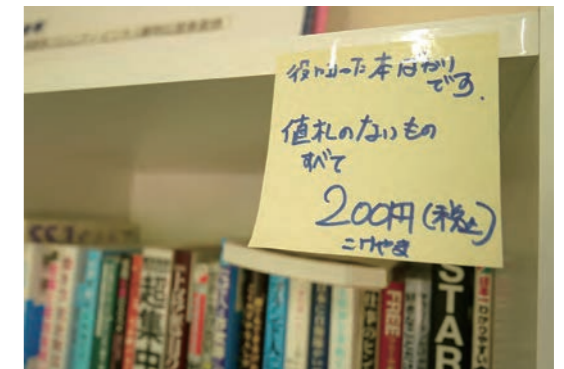
施設のご案内

施設内は主に4つのコーナーで構成されており、①地域課題解決のためのセミナー開催など様々なアイデアを実現できる「フリースペース」、②WiFi、複合機完備でワーキングできる「オフィススペース」、③調理用具一式が備わった「キッチンスペース」、④誰でも自由にくつろげる「カフェ・情報コーナー」があります。それ以外にも、ハンドメイド製品や古本を販売できるフリマボックス、絵画などを展示できるギャラリーコーナー、ユニバーサルトイレ、ロッカー、メールボックスなども備えています。

飲食を伴うイベントも可能で、公園の中にあるので開放的で換気抜群です。窓から見える景色も素敵で、公園を活用したイベントもできます。外には自由に絵本を見てもらえる「子ども文庫」もあり、お散歩中の親子の微笑ましい姿を見かけます。



フリースペース(エクアドル報告会)



フリマBOX



窓からの景色



健康か食堂



キッチンスペース



子ども文庫

2019年度の報告

2020年1月11日のプレオープンでは100名を超える参加者を迎えることができ、プレオープン(1月~3月)期間は実験的实施ということで週3回開所しました。コーディネーターを配置し、多くの個人、団体の方にオープンスペースの利用やフリマボックスの利用などをさせていただくことができ、オフィススペースも徐々に参加者が増えてきている状況です。

企業との「コラボスタイル」も積極的に進め、複数のプロジェクトを立ち上げ、現在進行中です。3月末には、株式会社MCC食品の協賛事業として、「あすパーク・健康か食堂」(子ども食堂)の第一回目を実施しました。

4月からはフルオープン(週5日稼働)しています(ただし4、5月は新型コロナウイルス感染症の影響で休館)。5月からはクラウドファンディングにも挑戦中です。

今後の展望

「地域共生拠点・あすパーク」は、CS神戸が、阪神・淡路大震災から25年を機に建設した民設民営の施設です。

震災後、神戸のまちは復興しましたが、近年は少子高齢化による家族機能の低下、格差による社会の分断、地域コミュニティの脆弱化が進行し、孤独死、引きこもり、子どもの貧困問題等かつてない生活課題が顕在化してきています。

このような課題をつながることで解決し、だれもがいつまでもいきいきと暮らしていくため、大震災で公園が復興の拠点となったように、都市公園内において共生の精神を大切にしながら様々な活動を展開していきたいと考えています。

新事業  
その3 『ご近所』をサポートします！

## 神戸市コミュニティ相談センター



センター内

### 事業概要

神戸市コミュニティ相談センターが2019年4月に長田区のふたば学舎へ移転するタイミングで、神戸市自治会連絡協議会(市自治連)から市自治連の事務局業務とともに委託を受けスタートしました。自治会をはじめとした地域の相談、コミュニティに関する講座や交流会の開催、地域の課題のサポートをしています。

### 2019年度の活動報告

2019年度はセンターのリーフレット作成、お披露目会を兼ねた交流会の開催、講座の案内や新聞記事の掲載等を重ねてセンターの認知度向上に努め、単位自治会や地域住民から年間56件の相談に対応しました。あわせて、各地域の状況を知るため、各区自治会長のもとに赴いての懇談会を10回開催・27名が参加しました。

2月には自治会運営の基礎である「会則と運営の基本」「会計のイロハ」と2本立ての講座を開催したところ、予想以上にベテラン役員からの申し込みが多く、あらためて不安や疑問を感じながら運営している自治会が多いことがわかりました。相談内容からも、課題を内部に抱えこみ、外部に相談しづらい、他自治会との情報共有ができていないなど、センターの事業的役割が認識できました。



公益財団法人兵庫県国際交流協会と自治会との意見交換



続・コミュニティ基礎講座

### 今後の展望

2020年度は、広報誌「コミセン通信」の発行(年2回予定)などで自治会活動に関する様々な事例やセンターの活動について積極的に情報発信します。また、自治会と外部団体とのマッチングによる課題解決事例の取材をおこなうとともに、当センターでも事例作りに取り組む予定です。

### “ハタラク”をつくる

## 生きがいごとサポートセンター神戸東(ワラビー)/神戸市NPO法人設立・運営相談窓口事業

2019年度も“ハタラク”をつくるをテーマに、就業や起業支援を行いました。70代以上の求職者が多く、多くの企業が65歳から70歳で定年を設定している中、マッチングにとっても苦労しました。そんな中、定年を設けず、高齢者雇用に力を入れているセブン・イレブンさんとの連携に取り組んだことは、今後の事業に大きなヒントとなりました。

また、2019年度からは女性の起業支援も大きな柱となり取り組んできました。融資を受けるような大きな創業ではなく、特技や趣味を活かし、自己資金のみで開業できる「小商い」サイズの起業を応援しています。

法人化に関しては50代から60代の方の相談も増えつつあり、定年後の選択肢が広がっていることを実感した1年でした。



女性起業セミナー講師

### 地域に愛される見守りステーション

## JR住吉駅前駐輪場

来年度の第5期目の指定管理更新に繋がる運営のレベルアップに注力しました。自転車乗り入れ危険や盗難シールなどへの対策、子育て割引更新月末集中の緩和など、スタッフからの改善提案27件を実現させました。「接客マナー」「認知症対応」などのスタッフ研修や現場リーダー入替えなどで運営能力が向上。利用者満足度アンケート調査ではスタッフ対応に高い評価点を得て、総合点83%(昨年79%)で市平均81%を超える数値です。

障がい者・地域の中学生との清掃ボラや駅前商店・地域団体と連携した駅前クリーンキャンペーンなど、年間延べ有償ボラ参加数は643名となりました。

駅前見守り拠点として認知症見守り・子ども見守り活動を継続、通学時いつも声がけする保育園児から卒園時に感謝レターを貰いスタッフの生きがいもアップしています。



むつみ保育園感謝状

クリーンキャンペーン

### 「人」と「地域」の縁結び

## 生きがい活動ステーション

生きがい活動ステーションは(公財)神戸いきいき勤労財団との協働で2014年6月に六甲道勤労市民センターに開設され、5年目を迎えました。

3月から新型コロナウイルス感染症対策で休所となったため、2019年度の情報提供者は8,924人、相談件数は3,291人、うち新規で登録された方は302人と、開設初の昨年度より少ない実績数となりましたが、例年通り、サロンや市民塾などを通じてグループが生まれるなど活動のすそ野を広げることができました。

また、神戸市中部エリア開拓の場「ひょうご茶話サロン」や地域住民と企業との学習・交流の場「企業コラボサロン」は2018年度に引き続き順調に開催。また、灘区内の居場所運営者・関連団体とも交流会を開催し、プログラム等の情報交換を行いました。



企業コラボサロン

居場所と役割のあるまちへ

居場所立ち上げ・運営支援事業

立ち上げ支援では、「一般コース」と「公園で居場所コース」の2コースで、立ち上げ講座を開催しました(新型コロナで後半講座が延期中)。運営支援では、毎年恒例の居場所サミットを8月4日に開催、藤山浩氏(持続可能な地域社会総合研究所所長)を基調講演にお迎えしました。サミット終了後、実行委員を中心に「神戸地域の居場所研究会」を立ち上げ、懸念であった居場所情報の一元化について、神戸市と正式な意見交換の場を持ち、実行への方向性が確認できたことは大きな前進でした。

また、兵庫県立大学NPO研究連携センターとの共同研究として、「居場所マネジメント実態調査」を実施し、「継続するための居場所のポイント」をまとめました。



居場所マネジメント実態調査

市民目線からの施設評価

介護保険地域密着型サービス第三者評価事業

CS神戸は兵庫県の認証を受けて、介護保険の地域密着型サービス事業所(グループホームと小規模多機能型居宅介護事業所)の第三者評価機関となっており、2019年度はグループホーム23件の評価を受託しました。あわせて、第三者評価機関のスキルアップの機会として、評価員と事務局がともにコンプライアンス研修を受講しました。2020年度も研修会等で評価員相互の研鑽と情報交流を進め、CS神戸らしい特色と質の高さを備えた第三者評価を行なっていきます。



評価員研修参加者

地域活動を応援する草の根助成

市民活動サポート基金

年2回の選考を経て、6団体へ助成金を交付しました。居場所や生活支援を行う団体が多くを占めました。前年度の助成団体による報告会では、賛助会員の参加を得てセミオープン形式で行い、助成団体が普段の活動で困っていることについて参加者から改善提案を聞くことで、会場全体で助成団体にエールを送ることができました。

なお、本基金には毎年賛助会費の8割を繰り入れ、原資としています。



サポート基金報告会

団体名	事業名	助成金額
アテンドクルーなだ	高齢者施設でのサポート事業	70,000円
HANASUの会	「UMEのつぶやき」運営事業	60,000円
笑いの保育わくわく	おやこ移動ほいくえん「子育て支援事業」	203,000円
チーム・プラチナ	阪神青木駅や阪急岡本駅周辺の子どもの見守りおよび美化活動事業	70,000円
カフェふらっと	うたごえサロン ランチ会事業	70,000円
NPO法人神戸なごみの家	居場所づくりと暮らしの保健室活動による介護予防と健康支援事業	250,000円
合計		723,000円

2019年度 講師派遣の実績

計51件86回

**行政・外郭団体** 岡山県/静岡県/伊丹市/ひょうご震災記念21世紀研究機構/大阪市東成区社会福祉協議会  
神戸市シルバーカレッジ/神戸いきいき勤労財団/吹田市社会福祉協議会  
篠山市社会福祉協議会/ひょうごふるさと創生塾/三田シニアカレッジ

**NPO・地域団体等** NPO法人ほっぺ/NPO法人コミュニティかりば/シニアシティカレッジ/日本看護協会  
さわやか福祉財団/シニア自然大学/NPO法人市民事務局かわにし  
ワンワールドフェスティバル実行委員会/豊岡アートセンタープラッツ  
NPO法人生涯学習サポート兵庫/認定NPO法人認知症予防ネット神戸

**企業** 日本山村硝子(株)/近畿労働金庫/大阪ガス(株)/有協働研究所

**大学・教育機関** 神戸学院大学/甲南女子大学/兵庫県立大学/立命館大学/追手門大学/神戸大学  
龍谷大学/神戸国際大学/御影高校/灘中学校

**マスコミ** NHK/神戸新聞社

他、委員会への就任多数

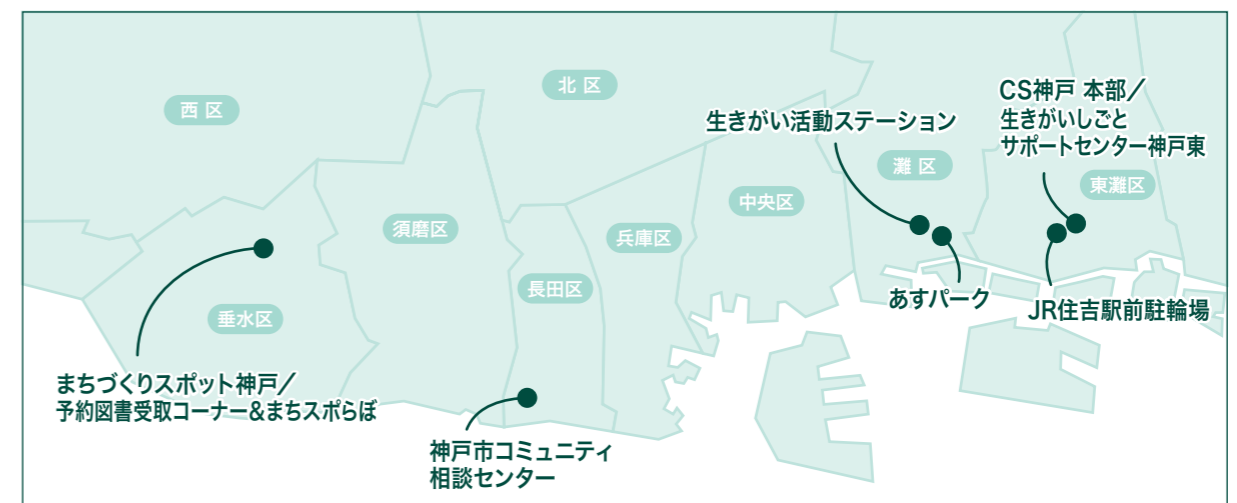
■視察受け入れの実績

**行政** 岡山市保健福祉局高齢福祉部

**NPO** NPO法人湘南NPOサポートセンター/住吉隣保事業推進協会  
沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい/NPO法人社の伝言板ゆるる  
地域創造基金さなぶり/韓国ヨンイン市社会的経済支援センター

**大学** 近畿大学/神戸学院大学

事業所マップ



# 2019年度決算報告

※詳細版はCS神戸のHPに掲載しています

## 貸借対照表

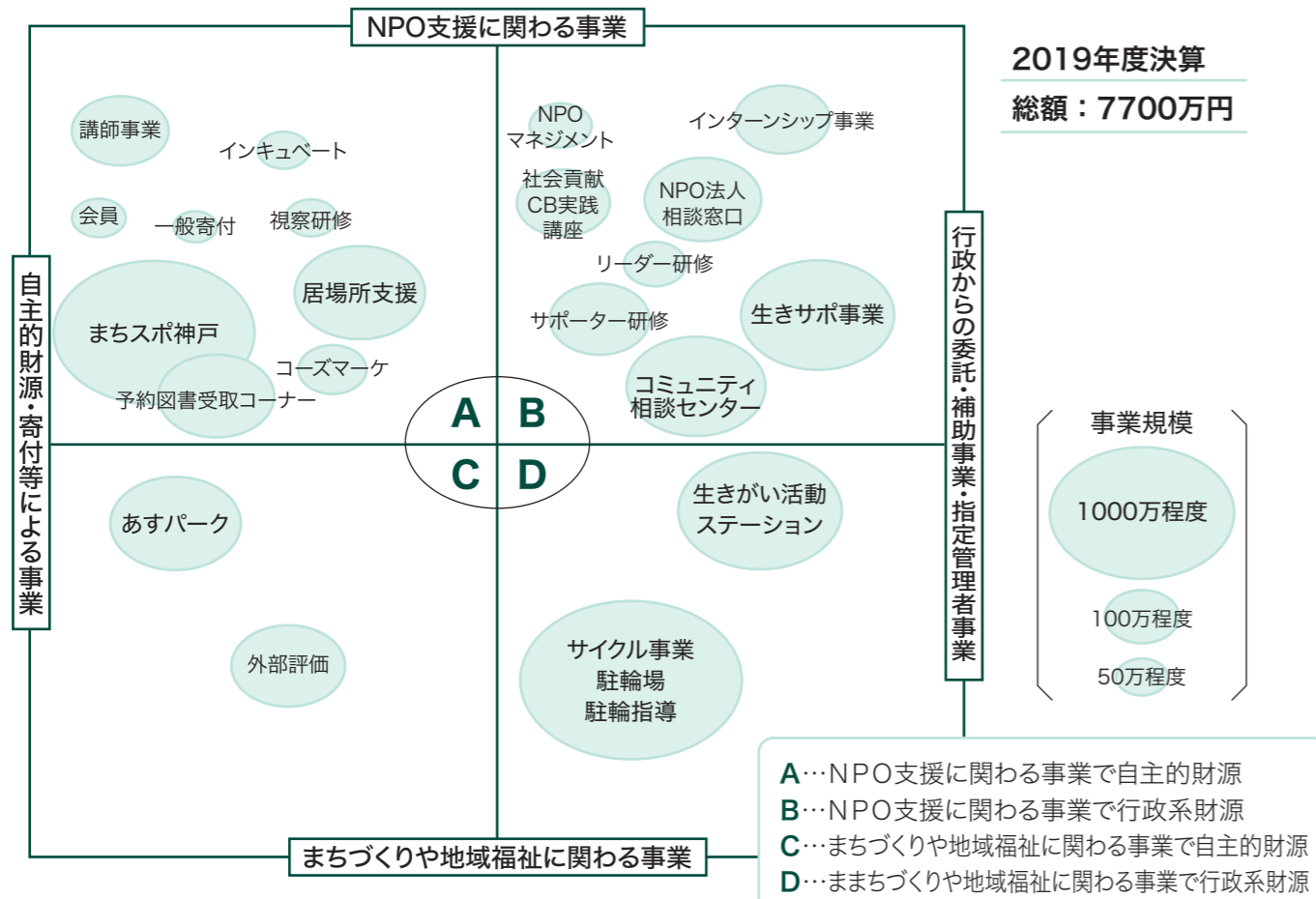
資産の部		負債の部	
1.流動資産	40,784,294	1.流動負債	6,661,174
(1)現金・預金	32,343,303		
(2)その他流動資産	8,440,991	負債合計	6,661,174
2.固定資産	44,303,519	正味財産の部	
(1)有形固定資産	26,144,531	前期繰越正味財産	74,671,436
(2)無形固定資産	275,960	当期正味財産増減	3,755,203
(3)投資その他の資産	17,883,028	正味財産合計	78,426,639
資産合計	85,087,813	負債及び正味財産合計	85,087,813

## 活動計算書

科目	金額	科目	金額
I. 経常収益		II. 経常費用	
1. 受取会費	608,000	1. 事業費	56,350,146
2. 受取寄付金	13,377,412	2. 管理費	17,850,289
3. 受取助成金等	15,975,500	経常費用計	74,200,435
4. 事業収入	46,716,294	当期正味財産増減額	3,755,203
5. その他収益	1,278,432	前期繰越正味財産額	74,671,436
経常収益計	77,955,638	次期繰越正味財産額	78,426,639

# 2019年度ポートフォリオ

## CS神戸における事業構成



# 2020年度に向けて

年度初め早々、世界中が新型コロナウイルスという未曾有の危機に見舞われ、これまでの社会生活・経済活動が根底から覆されるような非常事態に直面しました。人と人のリアルなつながりを基本に、コミュニティづくりを推進してきたCS神戸にとっても、出会いや交流の機会を奪われることは大きな打撃となりました。

しかしながら、今だからこそ格差が拡大したり、つながりが希薄化したりしないよう、感染症と共存できる社会システムや生活スタイルの提案・実践が求められています。これまでに培ってきた経験を活かし、時代感覚にふさわしい「新しいコミュニティ」の創出により地域課題を解決できるよう総力を挙げて取り組む所存です。

5つの重点目標を掲げ各拠点で協働のプラットフォームとしての充実をはかります。

- ①ITコミュニティの導入
- ②ネットワークでの事業実施
- ③外部向け研修プログラムの確立
- ④職員の実務力向上
- ⑤事業部のガバナンス強化



※2020年5月「第74回神戸新聞社会賞」を受賞しました。

# 2020年度組織図

